

2024年(令和6年)4月オホーツク管内倒産集計

令和6年5月7日

株式会社 東亜リサーチ

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

年初から発生続く 件数・金額ともに前年比増で推移

発生件数2件、負債総額5億2,028万円

■前月比	件数	同数(2024年3月)	2件
	負債総額	3億6,558万円増加(1億5,470万円)

■前年同月比	件数	1件増加(2023年4月)	1件
	負債総額	3億5,028万円増加(1億7,000万円)

2024年4月の発生状況

2024年4月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は発生2件、負債総額5億2,028万円。前月と比較し件数は同数、負債総額は増加。前年同月比では件数・負債総額ともに増加となった。発生企業は北見市(登記上の本店所在地～実体は網走市)の観光・宿泊業者と北見市の運送業者。観光・宿泊業者は網走市の能取湖近くで長く旅館業を営んでいたが、コロナ禍の影響で宿泊客が激減。令和5年3月に会社を分割し別会社へ事業を譲渡(別会社が事業を継続)し、同社は引き続き観光・旅館業を目的に存続していたが、実際の稼働には至らず同年10月に解散。本年3月に特別清算開始命令を受けていた。一方の運送業者は道央地区や本州方面への輸送に注力し、ピーク時の平成13年3月期には7億円を超える売上を計上していたが、同業他社との競争激化や不採算部門の廃止などで直近の売上は3億円台まで減少。収益面も低調に推移し負債超過に転落していたほか、3月に代表者が急逝したことで事業継続が困難となり、4月10日付で事業を停止。事後処理を弁護士に一任した。

2024年1～4月の発生推移

過去5年間の1～4月の発生推移は【右・表】の通り。平均発生件数は3.8件。同負債総額は3億9,098万円。

今年は前年、前々年と比較して件数・負債額ともに増加。過去5ヶ年の中でも20年に次ぐペースでの発生が見られており、倒産増加の兆候が顕著となっている。

過去5年間と今年1～4月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
2019年	3件	1億5,990万円
2020年	6件	11億3,800万円
2021年	6件	3億3,700万円
2022年	0件	0円
2023年	4件	3億2,000万円
2024年	6件	8億9,820万円

今後の見通しと問題点

国内全体では、個人消費やインバウンドを中心とした観光産業などで活発な動きが見られる一方、エネルギー・原材料価格の高止まりや深刻な人手不足など企業活動におけるマイナス要素の根は深い。また、2024年問題による影響も各業界に重くのしかかり、さらには日銀によるマイナス金利解除や加速度的に進展する円安基調が中小事業者にどのような影響を及ぼすのか、先行き不透明感が拭えない様相だ。

ここオホーツク管内は、今年も年初から4か月連続で倒産が発生するなど重苦しい雰囲気漂い、2024年問題の壁に苦慮する各業界でも今後の動向が懸念される。昨年5月のコロナ5類移行からおよそ1年が経過し、経済活動や各種イベントも本格的に再開された。地域における景気回復への気運は大いに高まっているが、一部業界では未だコロナの後遺症で苦しむ事業者も見られており、5月以降も予断は許さない見通しだ。

